



## 令和5年度も、ご協力ありがとうございました。

令和5年度の学校生活も、本日をもって終了です。この1年間、本校生徒は生徒会活動始め、様々な場面で、大きな成長を遂げてくれました。保護者の方々や地域の皆様のご理解、ご協力があってこそと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、本日の修了式では、次のような事を子どもたちに話しました。

□ 生徒に、この1年間の自分の成長を、10点満点で自己採点してもらいました。

### 1 令和5年度について

○ コロナ感染症が5類に移行したが、まだ様々な場面でいろいろな制約を受けた。しかし、そんな中でも、みなさんは限られた条件の中で最善を尽くしてくれた。

[ 学習面について ]

○ 1年生も2年生も、授業中真剣な態度等で、全体的にはがんばっていたと思う。

○ しかし、授業中がんばって理解しても、その内容を定着させなければならない家庭学習の状況はどうだったか。ここに大きな個人差があったのではないか。

○ 授業中に学び、分かったこと、できるようになったこと、説明できるようになったことも、それを自分のものにするための家庭でのがんばりが不足し、本当の学力にならないでしまうことはなかったか。

○ 授業と家庭学習は、学力向上の両輪。どちらかが不十分だと、その効果は半減する。将来の自分の進路実現に向けて、授業と家庭学習の両方を大切にしながらがんばってほしい。

[ 生活面について ]

○ 東中生の学校生活はすばらしく、市内でも落ち着いた生活を送っている学校の1つ。しかし1人1人に目を向けると、個人差があるのではないか。周囲をじっくりと見ることが出来る視野の広さ、友達の気持ちを尊重し思いやる優しさ、自分の考えをしっかりと持ちそれを実行しようとする強さ、これらを育てることができただろうか。

○ 強さ、優しさは人それぞれ。自分のできる範囲で最大限の優しさと強さを身につけられるようにしてほしい。ひとりひとりが確実に成長し、この東中全体がよりすばらしい学校になってくれることを強く願っている。

### 2 令和6年度のこと

○ 2週間後には2年生は最上級生としてスタートし、この植田東中の中心。1年生は先輩として後輩の手助けができなければならない。2年生は最上級生になる覚悟、1年生は先輩になる準備はできているか。

○ 「覚悟」「準備」と言葉で言うのは簡単。大事なものは、「行動」が伴わなければならないということ。ひとりひとりの努力で、令和6年度の植田東中が、今年以上に素晴らしい学校になることを期待している。

○ そのためには、この春休みの過ごし方が大切。自分の成長のために、どうすればよいのかをよく考え、計画をしっかりと実行し、すばらしい春休みにしてほしい。

1年生、2年生それぞれが、すばらしい先輩として、最上級生として新年度を迎えることができるよう、楽しみにしている。

### 令和6年度1学期の主な学校行事予定

4/8	入学式・始業式	5/16	体育祭	6/5～	市中体連総合大会
4/23～	家庭訪問	5/21	授業参観	6/15	親子奉仕活動
4/23～	3年生修学旅行	5/23	1学期中間テスト	6/20～	1学期期末テスト
4/26	1・2年生遠足	5/29～	市中体連陸上大会	7/19	第1学期終業式

\*感染症等の影響などで変更になる場合がありますことをご了承ください。

# 各学年代表生徒から

## 1年間をふり返って

1年1組 横山 蒼空

1年を通して、学年全体として成長したと思うことが3つあります。

1つ目は、あいさつです。入学した頃は相手の目を見て、相手に聞こえる音量でできる人の方が少なかったのが、今ではしっかりと相手の目を見て元気なあいさつが聞こえるようになりました。

2つ目は、授業態度です。まだ完璧ではありませんが、やるときは集中してやるという感覚が身についてきた人が確実に増えました。また、チャイム黙想を取り入れたことで、シーンと静まった状態で授業をスタートすることができるので、スムーズに授業に入ることができるようになりました。これからも継続していきたいです。

3つ目は、授業前の準備です。1学期や2学期は、授業前の準備を全然せずに授業中に取りにっていたのに対して、今は3分前着席の呼びかけを強化し、タイマーを活用したことで、皆が準備をするようになりました。

しかし、まだ改善すべきこともあります。僕が一番気になっているのは、移動教室のしかたです。小さな声で話すならいいだろうと思っている人や、きちんと並んでいない人が多くいるのでばらばらになったり、うるさくなったりして、注意されることがよくあります。これを直さないと、お手本になる2年生にはなれないので、絶対に直したいです。

このように1年を通して成長したところがたくさんありますが、まだ不十分なところもあるので、そこをできるようにして、4月からは「先輩」として新入生のお手本になれる学年に成長したいです。

## 3学期の反省

2年2組 安島遼太郎

僕は、この3学期を振り返って、今までより成長できた点と改善すべき点があると思います。成長できた点は3つあります。

まず1つ目は、2分前着席の定着についてです。2分前に着席の呼びかけが盛んに行われ、それにより全員が2分前に着席することができています。しかし、まだ2分前学習ができていない人がいます。改善するためには、周囲の人たちがさらに呼びかけることはもちろん、1人1人が学習に対する意識を高くもつことが必要だと思います。

2つ目は、様々な場面で他人への配慮や、気遣いができるようになったことについてです。例えば、友達に係の仕事を積極的に手伝う人が増えたことで、効率よく活動することができていたと思います。また、困っている人がいたら、声をかけて助け合っている様子もありました。今後も継続していきたいと思います。

3つ目は、テストについてです。テスト2週間前には、2分前着席・学習を徹底して行い、スタディタイムを活用して、学年全体で静かに学習することができていました。また、自分なりの勉強法を知り、2年生になってから点数を上げている人が多くなったように感じます。来年は受験生なので、さらに点数を上げられるように頑張りたいです。

おもな改善点は、課題の提出率が悪く、積極的な行動ができていない点です。特に行動については、指示をもらってからでなければ動けない人が多く、1つ1つの行動が遅くなってしまっていることがありました。そのために、指示をもらわなくても積極的に動けるように、日頃から周りをよく見る必要があります。

2学年全体で、1年を通して様々な成長ができました。それは、2年生になり「先輩」としての自覚がでてきたからだだと思います。今度は3年生です。最上級生になるために、まだまだ足りないことが多いように感じます。僕のイメージする東中の3年生は、「東中生」としての自覚をもち、積極的で、1つ1つの行動が早いです。イメージに近づけるように、そしてこれまでの3年生を越えられるように頑張っていきたいと思います。